

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 登別商工会議所事業推進職員設置補助金
-------------------	---------------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	2	安定した企業活動を支える良好な経営環境の創出
主要な施策	1	経営支援機能の充実
事務事業番号	002	事務事業コード 31321002 事業開始年度 平成 1 4 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別商工会議所事業推進職員設置補助金
------	------	------------	--------------------

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 登別商工会議所
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 登別商工会議所が行なう中小企業等の支援を目的とする各種事業の推進及び市との連携、商工会議所の組織強化及び体質改善をより一層推進するため、市の職員を派遣し事業推進職員として設置しており、この事業に係る商工会議所が負担する事業費の一部を補助する。 * H20年度推進事業 経営支援事業の推進、情報化事業の推進、広域経済交流事業の推進、地場産業活性化事業の推進、会員・組織体制強化の推進。
目 指 す 姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 登別商工会議所の組織強化と会員の拡大により、市内経済の活性化及び中小企業の振興・育成が図られる。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	推進員が行なう主な推進事業数	件	目標値	5				
			実績値	5				
	商工会議所会員数	件	目標値	1,000				
			実績値	762				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,400					0
合 計				1,400	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	33	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		33	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 登別商工会議所の組織強化及び市内中小企業の振興と育成を図るため、市が補助することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 登別商工会議所が行なう各種事業等を、市の職員を派遣することで市との連携が強化され、事業の推進を図ることで、地域経済の発展に寄与している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 登別商工会議所の組織強化等により、会員の拡大に努め、中小企業の振興・育成を図ることが出来ると考えられるが、市の財政状況が厳しく、この対応のため、職員数の削減を進めており、中堅職員の減少もあって平成22年度以降の職員派遣は困難となったことから、本補助金
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 登別商工会議所が行なう中小企業等の支援を目的に職員を派遣してきたが、上記のとおり本補助金は廃止とする。

担当グループによる評価

廃 止	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	登別商工会議所が行なう中小企業等の支援を目的に職員を派遣してきたが、市の財政状況が厳しく、この対応のため、職員数の削減を進めており、中堅職員の減少もあって平成22年度以降の職員派遣は困難となったことから、本補助金は廃止する。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

廃 止	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）